

《2年前の状況》



平成 28 年度議員県外研修

被災地の 5 年後を訪ねて

《議会広報常任委員長 宮川 徳光》

(その 2)

岩手県 陸前高田市

《現状》



上段は、2年前、市街地かさ上げ用の土を、西側（奥側）の山から元市街地へ運搬する巨大ベルトコンベア群。ダンプカー使用より工期短縮が図れるとのことですが、それでも2～3年はかかるとのことでした。

上は、山側の高台（地盤高18mほど）から南方の広田湾を望む。中央部には国道の山側への盛土、その向こう側に新たに設置された防護堤が。左端には震災遺構物の旧下宿定住促進住宅も見えます。

《H23年7月の状況》



《2年前の状況》



上は、H23年7月の状況。津波で屋上の2m上まで浸水した防災対策庁舎（矢印）を東側から撮っています。その左手の白色の建物は、公立志津川病院です。（左側が海側）

上は、2年前に左の写真とほぼ同じ方向より撮ったもの。防災対策庁舎は、震災遺構として残され、周囲には盛土工事が動き始めていました。

宮城県 本吉郡南三陸町

下は、今回の視察で防災対策庁舎周辺を車窓からほぼ同じ方向で撮ったもの。大規模な盛土工事が行われており、その高さは3階建て防災庁舎（矢印）の屋上高が12mであることから推し測れます。

《現状》



下は、「慰霊の塔」後側から左の写真と同方向を撮ったもの。低地が広すぎて、田畑を除くと復興の兆しは見つけにくいような状況と感じました。そのためか、この一帯の海岸沿いに、堤防の役目も兼ねた盛土による道路の建設が予定とのこと、所どころに盛り土の連なりが見えました。

宮城県仙台市荒浜地区

《2年前の状況》



上は、ふるさと再建グループのシンボル「黄色いハンカチ」



上は、2年前、右の慰霊の塔より陸地側を撮ったものです。震災ゴミは撤去されていますが、建物は1軒も立っていませんでした。

《現状》

